



美しい 県土づくりNEWS

2012年
5月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第94号
平成24年5月30日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 知事、台湾訪問へ
- 3 東日本大震災津波からの復興まちづくりフォーラム
- 5 復興交付金第2回交付可能額通知の概要
- 6 みんなで防ごう土砂災害！
- 8 「北いわて のん美里なつかし 未知のくに」ぐるりんスタンプラリーの開催のお知らせ
- 9 そうだ！御所湖広域公園に行こう！！
- 10 県民ゴルフ場@花巻広域公園のお知らせ

三陸復興

いわて花巻空港 FDA名古屋線就航1周年！

～産業・観光振興をはじめ、東日本大震災津波からの復興に大きく貢献～

平成24年5月21日、株式会社フジドリームエアラインズ(FDA)による「いわて花巻＝名古屋小牧線(名古屋線)」の就航1周年を迎え、いわて花巻空港で記念イベントが行われました。また、21日から22日の日程で岩手県空港利用促進協議会(会長:元持勝利岩手県商工会議所連合会会長)などで構成するキャラバン隊が、愛知県の関係機関を訪問し、名古屋線の利用促進PRを行ってきました。

FDAによる名古屋線は、現在、1日2便運航で多くの方々に利用頂いており、自動車産業をはじめとする産業振興や、世界遺産に登録された平泉などの観光振興の面で、本県の東日本大震災津波からの復興に大きく貢献しています。



FDAの航空機(352便)



花巻空港で1周年の記念品配布



愛知県の近藤正人地域振興部長を訪問



春日井市の伊藤太市長を訪問



知事、台湾訪問へ ～震災支援への感謝・観光PRを～

空港課

平成 24 年 5 月 29 日(火)から 6 月 1 日(金)の日程で、達増知事を団長とするミッション団が台湾を訪問し、台湾からの復興支援に感謝の意を伝えると共に、本県の観光PRを行っています。ミッション団は、大石満雄花巻市長や田村正彦八幡平市長をはじめとし、県内の観光・宿泊関係者など約 25 名で構成されています。知事の台湾訪問は、平成 21 年 4 月の初訪問以来 3 年ぶりとなります。前回の訪問では、台湾政府関係者や現地観光協会関係者を訪問し、いわて花巻空港へのチャーター便の運航拡大の要請や、岩手県の観光PRを行いました。



前回の訪問の様子（観光セミナー）



チャーター便の乗客をお出迎え（H21. 4. 16）



春季チャーター便の航空機（H24. 4. 19）



歓迎セレモニー（H24. 4. 19）

震災以降、台湾からは多くのボランティアが来県して温かい支援をいただいています。また、多額の義捐金もいただきました。今回はその支援に対する感謝の意を伝えるため、台湾政府関係者や震災復興の支援者を招いてレセプションを開催し、感謝状を贈呈します。

また、台湾からは、今年の4月にいわて花巻空港への春季プログラムチャーター便が震災後初めて運航され、約 600 人が本県を訪れました。今回の訪問では岩手の観光面での安全安心をアピールして、秋のチャーター便誘致も目指します。

東日本大震災津波からの 復興まちづくりフォーラム ～ふるさと岩手・三陸の創造を考える～

県土整備企画室

東日本大震災津波から1年が経過し、**今年度は本格復興元年**として、海岸保全施設の復旧・整備や命の道路である復興道路の整備、防災集団移転促進事業や土地区画整理事業等による面整備が、過去に前例のない規模とスピードで本格的に進められようとしています。

一方で、それぞれの市町村や地域には、先人から継承された文化とそれを育んだ風土、人と人のつながりにより形成された**“ふるさとへの想い”**があり、復旧・復興のインフラ整備にあたっては、連綿として受け継がれたこれらの想いにも応える必要があります。

本フォーラムは、これら**“ふるさとへの想い”**などに応えながら、**50年、100年先を見据えた復興まちづくり**に取り組むため、景観やまちづくりの専門家、被災地の復興を担うキーパーソン、教育・行政関係者を交えて県民と共に考え、**今後の復興まちづくりに役立てるために開催**します。

【主催】岩手県

【後援】財団法人岩手県土木技術振興協会、公益社団法人岩手県下水道公社

一般社団法人岩手県建設業協会、一般社団法人日本造園建設業協会岩手県支部

会場 平成24年6月9日（土）10時00分～15時00分

日時 ホテルメトロポリタン盛岡本館4階「岩手」の間

- 第1部 講演**
- I 東日本大震災津波からの社会資本の復旧・復興について
岩手県副知事 上野 善晴
 - II **後世に引き継ぐふるさと三陸のまちづくり**
涌井 雅之 氏



涌井 雅之 氏

【現職】

東京都市大学環境情報学部教授、中部大学中部高等学術研究所客員教授、東京農業大学客員教授

【略歴】

1945年、神奈川県鎌倉市生まれ。都市と自然の関わりにおけるランドスケープデザイン作品を数多く手がけ、「景観十年、風景百年、風土千年」を提唱。日本造園学会賞、国土交通大臣賞等を受賞。TBS「サンデーモーニング」等でコメンテーターとしても活躍中。

第2部 討論会

～三陸の50年、100年先を見据えた復興まちづくり～

被災地の復興に取り組むゲストをお迎えし、今後のまちづくりについて議論していただきます。

【ゲストのご紹介（50音順） 敬称略】



岩崎 昭子

【現 職】有限会社宝来館 代表取締役

【活動内容】釜石市根浜海岸前の旅館「宝来館」を運営する傍ら、「A&F グリーン・ツーリズム実行委員会」幹事を務め、地元のグリーンツーリズム体験の拠点として、海岸の景観保全、農家民泊発掘による宿泊客拡大などに尽力。東日本大震災津波発生当時、宿泊客や地域住民に呼び掛け、先陣を切って避難誘導を行った。現在は、積極的にボランティアの受け入れを行うとともに、離れ離れになった地域の方々が集う場作りを行うなど、宿の再建のみならず地域の復興に向けて取り組んでいる。



及川 修一

【現 職】陸前高田市議会議員、全国太鼓フェスティバル実行委員会会長、小友町野球スポーツ少年団監督

【活動内容】東日本大震災津波発生以降、被災地に元氣と希望を取り戻すため、「太鼓フェスティバル」を通じた“まちづくり”活動を展開する傍ら、陸前高田市の惨状と復興に向けた取組などの講演にも多数出演。また、気仙地区広域連合議会議員として、震災からの早期復興に向けて、被災地の広域連携体制の強化に尽力。このほか、震災でグラウンドを無くした子供たちの野球練習や試合のため県内各地を転戦するなど、多岐にわたり活躍中。



佐々木 道雄

【現 職】奥州市立梁川小学校校長（前 山田町立船越小学校校長）

【活動内容】東日本大震災津波発生当時、山田町立船越小学校校長として勤務。同校は、津波浸水想定区域外に所在し避難所に指定されていたが、校務員の助言を受け高台への「避難」を即断。その後、同校は襲来した津波に呑み込まれたが、教職員一丸となった臨機の行動により、在校児童 136 人の命を救う。現在は、奥州市立梁川小学校校長として、東日本大震災津波の教訓を踏まえた防災教育に取り組んでいる。



津田 保之

【現 職】株式会社津田商店 代表取締役、釜石流通団地水産加工業協同組合 代表理事組合長

【活動内容】東日本大震災津波により、自らが経営する会社（株式会社津田商店）の本社、工場の一切を流失。1年がかりで再建し、本年4月より新工場の操業を再開。また、自らが代表を務める釜石流通団地水産加工業協同組合も被災し、現在再建中。組合員の大半も被災したことから、その再建に向け先頭になって取り組んでいる。



戸羽 太

【現 職】陸前高田市長

【活動内容】1995年4月から陸前高田市議会議員を務め、2007年3月に助役に就任。その後副市長を務める。2011年2月の市長選に初出馬、初当選を果たし、東北地方で一番若い市長として就任。市長就任直後、東日本大震災津波により中心市街地の壊滅的な被害と多くの犠牲者が出た中で、一日も早い被災者の生活再建を図るとともに、地域産業の再生と発展を目指し、新しい陸前高田市のまちづくりに全力を挙げて取り組んでいる。



南 正昭

【現 職】岩手大学教授 博士(工学)、岩手県東日本大震災津波復興委員会津波防災技術専門委員会委員

【活動内容】岩手三陸の復興支援と復興につながる調査研究を行っている。震災前から数年間に亘り研究フィールドとしてきた宮古市田老地区では、東日本大震災からの復興の支援活動ならびに復興につながる調査・研究活動の遂行を目的に、平成24年3月11日に「田老復興まちづくり研究室、通称：たろちゃん研究室」をグリーンピア三陸宮古のクラブハウス内に開設。岩手三陸の早期復興と三陸地域の充実に資することを目標に取り組んでいる。



向井田 岳

【現 職】刈屋建設株式会社 代表取締役、一般社団法人岩手県建設業協会副会長

【活動内容】東日本大震災津波発生直後から、国道45号などの啓開作業に尽力。また、宮古地区災害復旧対策連絡協議会の活動として、自衛隊の捜索活動への協力や宮古市のがれき撤去作業を実施。復旧・復興事業に従事する傍ら、建設業協会青年部連絡協議会時代から培った多方面に亘る活動・経験から、シンポジウム等にも多数参加。平成23年12月には、農林水産大臣から震災対応に対する感謝状を授与。現在、一般社団法人岩手県建設業協会副会長として活躍中。

復興交付金第2回交付可能額通知の概要

～前倒しなど大幅増！今後の復興に期待～

県土整備企画室

平成24年5月25日、東日本大震災復興交付金の第2回（4月4日申請分）交付可能額通知結果が復興庁から県、市町村に示されました。

全国的には、当面の要望額約1,696億円に対して、約1.5倍の2,611.9億円が配分されました。本県も、約563億円の申請に対して、約1.4倍となる798.5億円の配分がありました。（金額はいずれも国費）今回、交付可能額が当面の要望額を大幅に上回った理由として、

- ① 防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備事業、漁業集落防災機能強化事業などの生活（住宅）再建にかかる事業は平成25年度分の前倒しが行われたこと
- ② 市街地の再生を加速させるため、防災集団移転促進事業、都市再生区画整理事業、市街地再開発事業、津波復興拠点整備事業、漁業集落防災機能強化事業について効果促進事業として一括配分されたこと の2点があげられています。

県土整備部関係事業では、宮古市津軽石地区で実施する災害復興公営住宅整備事業において、平成25年度分の前倒し配分を受けるなど、今後の復興に弾みがつくものと期待されます。

また、道路事業については、津波浸水被害があり市町村のまちづくりと一体となって整備することとした17地区に交付可能額が示された一方で、配分が見送られた地区もあったことから、着実な復興に向けて、今後、市町村のまちづくり計画や復興庁と調整しながら進めていく予定です。

各県の当面の要望事業費と交付可能額 (億円)

	岩手県	宮城県	福島県	3県以外	計
当面の要望事業費 (国費)	約718 (約563)	約978 (約790)	約335 (約259)	約108 (約84)	約2,139 (約1,696)
交付可能額通知 (国費)	980.6 (798.5)	1,703.6 (1,418.2)	371.4 (306.1)	110.2 (89.1)	3,165.9 (2,611.9)
国費交付率	142%	180%	118%	106%	154%

※当面の要望事業費は、平成24年4月10日復興庁発表資料です。その後、変動があります。

県土整備部関係事業で交付可能額が示された事業 (事業費：千円)

市町村名	事業名	箇所名	交付可能額
陸前高田市	まちづくり連携道路整備事業	(国)340号竹駒ほか1地区	60,000
大船渡市	まちづくり連携道路整備事業	(主)大船渡綾里三陸線越喜来ほか3地区	160,000
釜石市	まちづくり連携道路整備事業	(一)唐丹日頃市線荒川	20,000
宮古市	まちづくり連携道路整備事業	(主)重茂半島線里ほか4地区	200,000
	復興関連道路整備事業(改築)	(主)重茂半島線熊の平～堀内	100,000
	災害復興公営住宅整備事業	津軽石地区	709,000
田野畑村	まちづくり連携道路整備事業	(主)岩泉平井賀普代線明戸ほか1地区	125,000
野田村	まちづくり連携道路整備事業	(主)野田山形線野田	30,000



みんなで防ごう土砂災害!

～6月は土砂災害防止月間です～

砂 防 災 害 課

近年、台風、梅雨前線豪雨、地震などにより全国各地で土砂災害が多発しています。

また、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。

平成23年は、東日本大震災津波や台風第12号をはじめ、地震や豪雨により全国各地で1,422件の土砂災害が発生し、多くの尊い人命が失われました。

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和58年より6月を『土砂災害防止月間』と定め、土砂災害防止のためにさまざまな取り組みを実施しています。

平成24年度は、土砂災害に関する防災意識の普及、警戒避難体制の整備等を推進するため、住民や砂防ボランティア等の市民団体と連携するなど、一人ひとりが防災意識を持ち土砂災害を防ぐために、様々な取り組みを実施することとしています。

本県でも、市町村などの関係機関・砂防ボランティア岩手県協会と連携して、土砂災害危険箇所の点検等を行うこととしています。

昨年の危険箇所点検の様子



また、平成24年6月4日から15日までの間、岩手県庁1階県民室において『土砂災害写真パネル展』を開催します。

県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取り組み等を紹介するパネルや、昨年度の土砂災害防止月間における行事の一環として小中学生から募集した「土砂災害防止に関する絵画・作文」のうち、優秀作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

昨年のパネル展の様子



土砂災害にはこんな前兆現象があります!

こんな現象を見たら…聞いたたら…早めに避難しましょう。
 キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

<p>地すべり</p>	<p>土石流</p>	<p>がけ崩れ</p>
<p>斜面のふくらみ 地鳴り・山鳴り 樹木の傾き 亀裂・陥没の発生・拡大 地面の震動</p>	<p>渓流内で転石の音 流木発生 流水の急激な濁り</p>	<p>地鳴り 斜面のふくらみ 湧水の停止 湧水の順き出し 小石が頻りに落下</p>

土砂災害対策等に関するお問い合わせ

場所： 県庁7階 砂防災害課

TEL: 019-629-5922・5923 (土砂災害対策担当) FAX: 019-629-9140

E-mail: AG0006@pref.iwate.jp

子どもが
遊べる場所が
ないかな？

軽く、
汗を流したい！！

そうだ！

御所湖広域公園へ行こう！！

久しぶりに
自然に触れたい

なんか、
ポーッとしたいな・・・

都市計画課

観ると遊ぶがいっぱいの御所湖広域公園へ行こう！！

- ★ 今の季節、カキツバタがみごろ！その後は、スイレンもきれい♪
- ★ 乗物広場でゴーカートやスワンサイクルを楽しもう！
- ★ 暑い夏は、ファミリーランドで水遊び！
- ★ ほたるの光で、幻想的なひとときを・・・
- ★ 御所大橋運動場で、汗をかいてリフレッシュ！



乗物広場 サイクル列車



御所大橋運動公園 テニスコート



ファミリーランド



尾入野湿性植物園 スイレン



尾入野湿性植物園 カキツバタ

《問い合わせ先》御所湖広域公園管理事務所（乗り物広場内）TEL 019-692-4885

ベストシーズン到来！！ 県民ゴルフ場@花巻広域公園のお知らせ

都市計画課

～ 2012 お得企画 ～ 詳しくはHPをご覧ください。

- ★ 小・中・高校生のグリーンフィーが**無料**！
- ★ レンタル用品(クラブ・セット・シューズ)を**無料**で貸し出し！
- ★ 10名様以上コンペに**3,000円相当賞品**&ゴルフボール**1ダース進呈**！
- ★ **毎週金曜日のレディースデイ**は、女性に**フーフプレゼント**&**電動カート無料**
&**カフェ飲料サービス**！！

通常料金(5月～10月 18H料金)

平日 4,000円 土日祝 5,000円

早朝料金(8月26日までの土休日のみ)

受付時間(5時～7時30分) 土日祝 3,500円

薄暮料金(10月31日まで)

受付時間(13時～) 平日 2,500円 土日祝 3,500円

受付時間(15時～) 平日 2,000円 土日祝 3,000円

- ★上記料金には、手動カート・利用税・保険料が含まれています。
- ★電動カート使用料は別途料金となります。
- ★薄暮プレーの受付時間は、混み具合により変更する場合があります。



＜問合せ先＞ 県民ゴルフ場 TEL 0198-27-3280

花巻広域公園 ゴルフ場

検索